

# 情報公開用文書

(単施設の研究用)

西暦 2022 年 6 月 9 日作成

研究課題名	急性胆嚢炎に対する内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージの有用性の検討
研究の対象	2015 年 4 月から 2022 年 3 月の間で当院において急性胆嚢炎に対して ETGBD(内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージ)を試みた方を対象とします。年齢、性別は問いません。
研究目的 ・方法	急性胆嚢炎の治療は可及的胆嚢摘出術または手術対応困難時には胆嚢ドレナージが検討されます。近年、高齢化社会において基礎疾患(脳血管・循環器疾患など)を抱える症例が増えており緊急手術・経皮経肝ドレナージ留置が選択できない症例が増えてきています。その中で内視鏡的経乳頭胆嚢ドレナージ(ETGBD)は有用であると思われませんが、手技成功率には施設間や術者間で差があり手技には修練が必要と考えられます。そこで当院で施行した ETGBD における手技成功率や手技困難であった因子を検討することを目的としました。 2015 年 4 月から 2022 年 3 月の間で当院において急性胆嚢炎に対して ETGBD を試みた方を電子カルテの情報から抽出し後方視的に検討させていただきます。
研究期間	西暦 2022 年 6 月 14 日(許可日)～ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	以下の項目を電子カルテから収集します。 年齢、性別、胆嚢炎重症度、ETGBD 選択理由、ETGBD 不成功理由、臨床的奏効率、偶発症など
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒222-0036 横浜市港北区小机町 3211 横浜労災病院 消化器内科 (研究責任者) 高柳 卓矢 電話番号：045-474-8111 (代表) FAX：045-474-8323</p>	